opusdei.org

年間第11週・金曜 日95 あなたの心の ある所

一家庭は「福音の種を蒔くのに最も適した場所」。一神が私たちに託された人たちに対する細やかな心遣い。一他の関心事に勝って、彼らのために必要な時間を使う。家庭における祈り。

2024/04/28

年間第11週・金曜日

95 あなたの心のある所

- 一 家庭は「福音の種を蒔くのに最も 適した場所」。
- 一神が私たちに託された人たちに対する細やかな心遣い。
- 一 他の関心事に勝って、彼らのため に必要な時間を使う。家庭における 祈り。

9 5. 1 福音の種をまく第一の環境 である家庭

「あなたがたは地上に富を積んではならない。そこでは、虫が食ったりするし、ますでは、なび付いたりするしたりで盗み出したので盗み出した。そこともない。ないでででいるともない。あなたの心もあるところに、あなたの心もあるをし」」。この世でどんなにたくさん

蓄積しようとしても、ほとんど意味 がありません。この世で心をすっか り打ち込む価値のあるものは何もあ りません。私たちの心は、神のた め、神においてこの世の高貴なこと のために創られています。頻繁に以 下のことを自問するのはすべての人 にとって役に立つでしょう。心を何 に与えていますか? 自分の宝は本当 のところ何ですか? 普段、何につい て考えていますか? 最も深く関心を 寄せていることは何ですか? 心を占 めているのは、住んでいる所や勤め ている会社の近くのご聖櫃におられ る神ですか? それとも、自分のビジ ネスや自分の勉強あるいは自分の仕 事でしょうか、または、十分満たさ れていない利己的な夢やもっと所有 したいという渇望でしょうか? 男性 も女性も正直であれば、多くはこう 答えざるをえないでしょう。自分自 身について、自分自身が関心のある 人たちと物事についてだけしか考え ていません、と。しかし、私たち

は、神に、神からいただいた使命 に、神のために人々と物事に、りまる必要があれる必要があれる必要があれる必要があれる必要があれるのでおられまでは、私たちにこう話されまではもまっては、は、なる人が忍び込むことととといる。またともない。あるともない。の心もあるのだし。

 あるいは超自然的な特別の家族に、 私たちが心を入れて奉仕することを 望んでおられます。通常、その人た ちこそ、私たちがまず初めに神に導 き、聖化しなければならない人々だ からです。

人々のことに関心を持てば、利己主義から解放され、寛大さに成長し、 その結果として、真の喜びを見出とことになります。主にしてか知の中ばれていることを宙の中ばれている人は、もはや自分を宇宙トがしません。キリストは、しません。キリストがしてみなしません。キリストがしたもされているのがわかくからせばさった。

家庭での、両親、兄弟姉妹の模範は、他の家族にとって、本当に価値のあることが多いです。それによって、キリスト教的見解から世の中を見ることを学ぶからです。家族は、神のみ旨に適ったとても重要なもの

です。なぜなら、教会の福音的活動 はまず家庭で始まるからです³。 福 音の種を蒔くために、生きた細胞の ように、両親と子どもたちが神と兄 弟に仕えるキリスト教的理想を体得 し学んでいく、第一の相応しい環境 なのです⁴。 家庭は使徒職にとって 素晴らしい場所です。今日、私たち の家族がそうであるか、共に住む人 たちを日毎、少しずつ変え続けるパ ン種のようであるか、糾明してみま しょう。兄弟姉妹や子どもたち、そ して両親の召命のために、主に絶え ず祈っているか、糾明しましょう。 彼らが神への完全な奉献に心を向け るためです。というのも、これこそ があなたの助けによって彼らの多く のが見出す、主が彼らにお与えにな る本当に貴重な宝である最高に素晴 らしい恩恵だからです。

95. 2 神が私たちに委託した人々 に向けられる私たちの行き届いた心 遣い 私たちの富があるところに、自己奉 献と最大の犠牲である愛がありま す。このため、私たち一人ひとりが 受けた特別の招きと、共に住んでい る人々の召命を特に尊重しなければ なりません。彼らは、私たちが所有 するこの宝の恩恵を直接受けること になるからです。あまり価値がない と思われるものを愛することはやは り難しいものです。そのうえ、主 は、自然の血族者であろうと超自然 的な親族であろうと、神が私たちの 保護のもとに置かれた人々を優先す ることを否定するような愛を望んで はおられないでしょう。なぜなら、 それは神から命じられたものでも真 理でもないからです。

家族は、社会の基本的な最も重要な 単位で、神が社会の最も堅固な土台 と定められたものです。それは多 分、あらゆる面から、最も狡猾に情 け容赦なく攻撃される社会の部分で もあります。社会的重要性と家族の 価値を無視して税金が取りたてられ ます。思想的政治的に動機づけられ たものが教育に向けられ、子どもの 相応しい形成に悪影響を及ぼしま す。物質主義や快楽主義は、両親や 教師の視野を歪め、もっともらしい 人口統計学と社会的な理由で生命そ のものに対するキャンペーンを促進 し、家族の真髄を攻撃し、自由と独 立の間違った意味が若い人々に教え 込まれ、進歩的な社会のプログラム は、母親が子どもたちの世話をする ための時間を少なくします。両親が 自分の子どもを教育する権利を持つ という事実を、多くの人々が見失 い、本質的にも諦めることのできな い基本的な権利を放棄することに なっています。時には、抵抗しない がために、行き過ぎた干渉に慣れて しまい、唯物論的な教授法、教科 書、図表、プログラム、教材によっ て、意図的に、霊的人間的本性を隅 に追いやるのです。

両親は、子どもたちとの関係におい て、この世のどんな力も、神が彼ら に与えた責任を免れさせることはで きないことに気づいていなければな りません。私たちは皆、それぞれ異 なった方法で、主から、他の人々の 世話をするように任されています。 司祭には託された霊魂があり、教師 には託された生徒がいます。同様 に、霊的形成を与える責任を受けた 大勢の人がいます。神のみ前で、 「あなたに任せた人々はどこにいま すか?| と聞かれた時、誰も私たち に代わっては答える人はいないで しょう。しかし、私たち一人ひとり は「あなたが与えてくださった人を わたしは一人も失いませんでしたし と答えることができるでしょう⁵。 なぜなら、主よ、あなたの恩恵のお 陰で、私たちは誰一人迷わないよう に普通の手段と並外れた手段の両方 の使い方を知っているからです。

主は、ある人が神に対する義務を 怠っていることに気づき、親切にそ の人を助けることができる愛、また はある人が悲しんだり仲間から離れ 孤立したりしていることに気づくこ とのできる愛、心配りのできる愛を 要求され、その人にもっと注意を払 うように要求されています。別の時 には、ある人が告解に行くように優 しく導き、好機が訪れればもっと強 く行くように説得するかも知れませ ん。よく心配りできる心を持ってい れば、キリスト教的な家庭に相応し

くない振舞いが忍び込んでくると、 敏感に気づきます。たとえば、事前 に選択せずにテレビが見るとか、 度々、陳腐な話題に終始する会話を 続ける、仕事を一所懸命にしない、 人のことを考えない、など。よく心 配りできる心を持っていれば、忍耐 をもって、祈りともっと濃やかな愛 情で良い模範を示すことに関心を持 つのです。そして、私たちが愛徳と 人間的な思いやりの心を持って剛毅 と堅固に生きることができますよう にと、聖ヨセフに仲介をお願いしま しょう。誰かが病気になったら、心 ある人たちはその思いやりを倍に増 やします。なぜなら病人は神から特 に愛される人たちであり、今苦しん でいる人たちは、家庭の宝であるこ とを知っているからです。病人は、 祈り、自分の病気を捧げることがで きます。そうすることによって、苦 しみをできるだけ小さくするので す。愛は、苦痛を軽くし、苦痛から 解放さえしてくれます。少なくと

も、苦痛をもっと耐えられるものに し、幾分和らげてくれます。

95.3 必要な時間を捧げること、 それは他の関心に優先します。家庭 の祈り

今日、祈りの中で、家族や私たちが 世話をする人々が、私たちの生活の 中で神に望まれる場を占めている か、また、私たちがその人たちのた めに本当に心を砕いているかどうか を見ましょう。ここにこそ、私たち の召し出しとともに、永遠の生命に 続く宝があるのです。以前は重要だ と思われた他の富が遠のいてしま い、今、その魅力を失い始めたのは 確かです。意向の正しさを欠いたた めに宝を単なる錆にしたり、あるい は偽りの宝、あるいは僅かなものに したりしてしまうのです。

家庭生活を相応しく生きるというこ とは、度々、互いに他の人のために 時間を使うことを意味します。つま

り、家族の行事を祝う時間や集いの 時間、話をし、耳を傾け、理解し、 共に祈るための時間を持つこと、な ど。一般的で表に現れない愛をもっ ていても十分ではなく、行いに現 れ、見える愛情であるべきです。私 たちは、それを育てなければなりま せん。このために、必要な人間徳と 自己を忘れることを懸命に養い、実 行し、意識的に努力し、祈らなけれ ばなりません。何のために、誰のた めに生きているのか? どんな関心事 が私の心を占めているのか?と自分 に問いただすことは無意味ではあり ません。

家庭を攻撃するものが増えたことが 明らかだと思える今日、それを防ぐ 最良の方法は、真の人間の愛情によります。自分の欠点と他の人の欠よ を考慮に入れ、家庭の中に好ましい を考慮に入れ、家庭の中に好ましい で神を現存させるのです。 れは、食事の時に感謝を述べ、年配 祈りに幼い子どもたちも加え、年配

の方と福音書の数行を一緒に読んだ り、死者のため、教皇と家族の意向 のために、短い祈りを唱えたりする ことで実践することができます。教 皇様が、家庭内で唱えるようにと頻 繁に勧められ、多くの恩恵をもたら す祈り、聖なるロザリオを忘れない ようにしましょう。それは、旅をし ている時、または家族に合った時間 を設定するなどすれば、いつでも祈 ることができます。またこれは、い つも母親やおばあさんに先導しても らう必要もありません。父親や年長 の子どもならば、この喜ばしい仕事 に立派に貢献することができるから です。多くの家族は、日曜日に一緒 にミサに行く健全な習慣を保ち続け ています。

家庭内で、たくさんの信心の業を実行する必要はありません。しかし、 全員、または殆ど家族全員が、信者 だとはっきり公言している家庭に全 く信心の業がないなら、それは不自 然でしょう。キリストに忠実に従う 者と自認しているのに、信仰の誠実 さが家庭生活に反映されていないな ら、意味がありません。子どもとと もに祈る両親なら、子どもたちの心 を神に導く方法を見出すのは容易で しょう。また、子どもたちは、両親 から受けた助けを絶対に忘れませ ん。神と話すこと、どんな状況にお いても聖母を頼みにすること。母親 の口から、おばあさんの口から、お 姉さんの口から教わった、このよう な祈りのお陰で、どんなに多くの人 が天国の門に到達することでしょ う!

このように、素晴らしい愛情と揺らぐことのない信仰に一致して、彼らは、もっと良く、もっと効果的に、外の環境から来る攻撃に抵抗することができます。たとえ悲しみや病気に襲われた時であっても、容易にもれらを耐え、さらにもっと素晴らしい一致と深い信仰の機会にします。

私たちの母でもある聖母は、主の招きと招きが意味することすべての内に、自分の家と家庭、そしてその集まりに、様々な形で私たちとつながるようにと神がお望みになった人々のうちに宝があることを教えてくださるでしょう。

イエスのみ心のうちに、私たちは、限りない愛の宝を見出すでしょう ⁶。 私たちの心が主に似るように努 めましょう。

 $^{^{1}}$ \forall 9 + 2 1

² F.Koening, Pastoral Letter about the family, 2 3 March 1 9 7 7 参 照

³ 聖ヨハネ・パウロII世,Address, Guadalajara, Mexico,3 0 January 1979

⁴ 聖ヨハネ・パウロII世, Address to Bishops of Venezuera, 1 5 September 1 9 7 9

5 ヨハネ18:9

⁶ Roman Missal, Collect for Solemnity of the Sacred Heart of Jesus 参照

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-XI-kin/ (2025/12/12)